

Minami Kyushu University Syllabus

シラバス年度	2025年度	開講キャンパス		都城キャンパス		開設学科		環境園芸学科				
科目名称	環境園芸概論							授業形態		講義		
科目コード	710001	単位数	2単位	配当学年	1		実務経験教員			アクティブ ラーニング		
担当教員名	山口 健一、日高 英二、平岡 直樹、新谷 喜紀、岡島 直方、長江 嗣朗、菅野 善明、林 典生、関西 剛 康、牧田 直子、杉田 亘、中野 光議、廣瀬 大介										ICT活 用	○
授業概要	キーワードを「環境」において、環境園芸学科の3分野（園芸学分野、造園学分野、自然環境分野）に関わる基礎的知識を学びます。											
関連する科目												
授業の進め方 と方法	オムニバス授業です。各分野の教員が、異なるテーマで講義します。											
授業計画 【第1回】	「環境園芸概論の意義と概要」 環境園芸学の各分野の概要を解説する。											
授業計画 【第2回】	「樹木の病気と環境の関わり」 樹木の気象障害や土壌障害について解説する。											
授業計画 【第3回】	「水田地帯の生物多様性」 水田と水路に生息する動物の多様さや生態などについて紹介する。											
授業計画 【第4回】	「侵入害虫の脅威」 外来昆虫の問題を中心に、昆虫と環境や人との関係を概説する。											
授業計画 【第5回】	「作物の分類と用途」 作物の利用面での分類と主要作物の用途について解説する。											
授業計画 【第6回】	「花卉園芸入門」 花卉園芸学の意義とその歴史について解説する。											
授業計画 【第7回】	「造園学の新規軸と伝統性を考える」 Think Globally, Act Locallyの姿勢を考える。											
授業計画 【第8回】	「造園学の新規軸と伝統性を考える」 Think Globally, Act Locallyの姿勢を考える。											
授業計画 【第9回】	「遺伝と情報・植物のバイオテクノロジー」 園芸植物に利用されているバイオテクノロジー技術を解説する。											
授業計画 【第10回】	「植物バイオテクノロジーと植物病理学」 植物バイオ技術発展への植物病理学の貢献について解説する。											
授業計画 【第11回】	「Tradition and Innovation in Gardens」 日本庭園、西洋庭園の価値や社会性、役割について解説する。											
授業計画 【第12回】	「ガーデニング活動による地域共生社会構築」 ガーデニング活動を通じた地域共生社会構築の最新事例などを解説する。											
授業計画 【第13回】	「農業界の可能性とアプローチ」 日本農業の現状及び動向、農業界へのアプローチ、世界及び社会情勢等について外部専門家が講義する。											

授業計画 【第14回】	「地域のロールモデル」 就農までの道のりや農業スタイル、農業経営の今後の目標等について外部専門家が事例を示して解説する。
授業計画 【第15回】	環境園芸概論の総括
授業の到達目標	環境と園芸生産、環境と景観について基礎知識を学ぶ。
学位授与の方針 (DP)との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(1)／2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(2)
授業時間外学習【予習】	園芸生産、景観、生物多様性について調べる。
授業時間外学習【復習】	園芸生産、景観、生物多様性について調べる。
課題に対する フィードバック	提出した課題は、次週に解説して返す。
評価方法・基準	課題提出（90%）、授業中質疑応答（10%）
テキスト	無い
参考書	無い
備考	毎回資料を配布する。